

- 2 ワラ、落ち葉、野菜のくずなどを15～20cm程度の厚さに積み、その上に鶏糞、油かすなどの有機肥料を少しずつまいて水を入れ、踏み固めます。
- 3 再び2を積み重ね、サンドイッチのように積み重ねて放置します。

たいひ ダンボール箱で堆肥を作る

2つのダンボール箱(みかん箱くらいの大きさ)を用意します。1つのダンボール箱を解体し、生ごみを入れるダンボールの底を補強し、ふたを作り、ダンボール容器を完成させます。容器の半分くらいまで、ピートモスともみ殻くんたんを3:2の割合で容器の半分くらいまで入れ、かき混ぜます。

微生物が生ごみを分解し水蒸気と二酸化炭素が出るので、ダンボール容器の全ての面で通気性を確保します(特に底は木の切れ端などを使い床から5cm以上離す)。基材の水分は50～60%が適当です。全体量はほとんど増えません。雨に濡れない暖かい場所に置きます。



生ごみを入れて1日1回よくかき混ぜ、空気を入れます。3カ月ほど続けたら、生ごみの投入をやめ、時々かき混ぜます。1～2週間後、土と混ぜ、更に1～2カ月程置くと、堆肥のできあがりです。

花壇用の土の種類

名 称	特 性
黒 土	黒色で有機質を含み、雑菌が多い。
鹿沼土	栃木県鹿沼地方で産出される軽石質の土である。酸性で排水性、保水性がある。盆栽や山野草、さし木などに最適である。
赤玉土	弱酸性で排水性、通気性がよい。保水力もある。粒子の粗いものは鉢底にも使われる。
ピートモス	湿地や沼地でコケなどが堆積して泥炭化したもの。強酸性で保水性、通気性がよい。
腐葉土	広葉樹の葉を腐らせたもの(針葉樹の葉は、油脂分が多く適さない)。通気性、排水性、保水性、保肥力に富む。
たいひ堆肥	鶏・牛・馬糞やオガクズ、野菜くずなどを混ぜて腐らせたもので、肥料分も高い。